

情 現・場 を 貢 献

甜菜の作付支援



甜菜の作付支援を高原副知事(当時)に要請(H22.12.8)

甜菜の作付面積の拡大に向け、戸別所得補償制度のもと制度化された水田活用直接支払交付金のうち、北海道が活用メニューを設ける畠地の產地資金において、甜菜とでん粉原料用馬鈴薯への活用を強く要請。平成23年及び24年度で支援を実施し、10ルアーハタリ約4千円が支援されました。

甜菜振興協議会

甜菜の厳しい作付けの実態をより多くの皆さんに知つていただきようと、平成23年6月26日「第1回土別ビートまつり」が日甜土別製糖所敷地内で開催、3千人の参加がありました。

このイベントを一過性にせず、甜菜振興を地域の課題とする必要があるとの思いから、牧野前土別市長や北海道農政部との協議を行い、土別市が甜菜を作付している自治体に呼びかけ「北海道でん菜振興自治体連絡協議会(会長:牧野土別市長(当時))」が設立され、以後、甜菜振興に関する政策提言を行つてあります。

介助犬の養成支援

平成21年第2回定例会の一般質問で、高橋はるみ知事(当時)から「道内で介助犬の要請に向けて検討した

い」と、前回きな答弁を得ました。

また高橋知事は、土別市内で介助犬を活用している障がい者宅を訪問し、介助犬の養成に向けて取り組むことを約束していただきました。

取得税を免除

平成28年8月、相次ぐ台風襲来により北海道は甚大な被害に見舞われました。第3回定例会では、「台風での被災により自動車の再取得が必要な場合の代替自動車の取得税について減免すべき」との質問を行い、特例措置として全額免除なり、南富良野町の被災者から喜ばれました。

河川氾濫への対策

一昨年の8月、大雨によつてベンケヌカシンンブ川、温根別川、大牛別川が氾濫。北口道議は速やかに現地を確認し、道との協議を行つた結果、道は河道掘や立て木伐採について予算化し、

実施を約束しました。

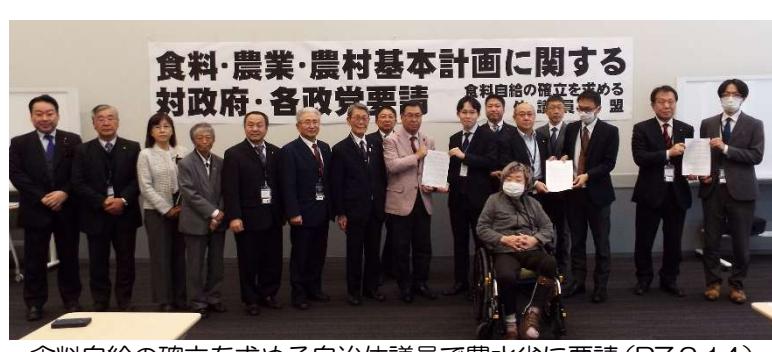
また昨年もペンケヌカンンブ川が2年連続で氾濫。農家からは抜本的な改修を要請され、幾度となくその実現に向け奔走しています。

農業議連の設立

食料・農業・農村基本法の見直しに合わせ、一昨年12月、北口道議が発起人となり、地方自治体の超党派の議員らで「食料自給の確立を求める自治体議員連盟」が設立されました。

「農業者と消費者が安心して国産の農産物を消費できるようにするために訴えていくことが必要」と議員連盟を立ち上げる

こととなり、設立後、翌年3月に、北口道議は農水省に対し「食料自給の確立を求める要望」を行いました。



食料自給の確立を求める自治体議員で農水省に要請(R7.2.14)

算の確保や有事の際の「食

勉強会を重ねています。さらに北口道議は、全国地方議員交流研修会の共同代表として、全国の仲間とともに地域振興などで